

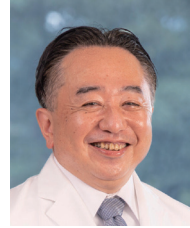
# 特集 4

# 亜鉛欠乏症による下痢の 基本的理解と臨床成績



ないとう ゆうじ  
**内藤 裕二**

京都府立医科大学大学院医学研究科  
生体免疫栄養学講座 教授



たかぎ ともひさ  
**高木 智久**

京都府立医科大学大学院医学研究科  
消化器内科学教室 教授

## 要旨

亜鉛は腸上皮バリア維持, タイトジャンクション発現, イオン輸送調節, 免疫制御に必須であり, 亜鉛欠乏はバリア障害と分泌性下痢を招く. 臨床的には, 小児急性・持続性下痢に対する亜鉛投与は, 期間短縮・重症度軽減のエビデンスが確立しており, 標準治療として推奨されている. 一般成人や特定の疾患では, 一部で有効性が示唆されるものの, 試験数は少なく結果も不均一で, 標準治療への補助療法という位置付けにとどまる.

## キーワード

腸上皮バリア, 免疫制御, 急性下痢, 腸管炎症